

C-56 接着芯地に関する研究 (第1報)

——接着強度について——

三河繊維試験 志満津発司
三重短大 ○伊藤 五子

1. 芯地の選択は被服構成上重要な問題である。近年、接着芯地が家庭の縫製にも使用されるようになってきたが、接着芯地の性能が家庭縫製に適性であるかどうかという検討の必要を感じ、若干の実験を行ない考察をこころみた。

2. ミクロ示差熱分析計において、接着樹脂の熔融および凝固温度の分析を行ない、家庭において縫製するに、カッターブラウスのえり用芯地として適当と思われる市販不織布系接着芯地と粗布素材接着芯地の二種を選び、ドライおよびスチームアイロンにおいて、 120°C 、 140°C 、 160°C 、 180°C 、 200°C 、の5種類の温度で10秒間ずつ処理し、オートグラフで接着効果の測定を行ない温度の差ならびにドライ、スチームによる接着の強度について比較検討した。

3. 不織布系接着芯地の方が性能がすぐれており、アイロンがけはスチームアイロンよりドライアイロンの方が効果が高く、温度は高い程よいという傾向がみとめられた。